

第6学年 道徳学習指導案

授業者 T 1

T 2

1 主題名 本当の自由 1－(3)

2 ねらいと資料

ねらい 自由の意味について考え、自律的に行動しようとする態度を育てる。

資料名 「自由学習ノート」

出典 夢にむかって（高学年）彩の国の道徳

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

内容項目1－(3)は、「自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。」ことをねらいとしている。何ものにもとらわれない自由な考えや行動は自己を高めていく上で大切であるが、自律的に判断することや自己責任が伴うことを忘れてはならない。

内容項目1－(3)は、中学年の「正しいと判断したことは、勇気をもって行う。」から発展し、中学校の「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。」ことに発展していく。自由を思うままに行動することと誤解することなく、自分や社会に対して常に誠実でなければならないことを自覚し、責任ある行動がとれるようになることが求められている。

最高学年である児童は、自主的に考え、行動しようとする傾向が強まる時期であり、自分の考えをもって行動することが多い。しかし、時には自由のはき違えをしてしまうこともある。そこで、自由の意味について考えることによってその意味を理解し、行動することの大切さを知ることは自分の責任を踏まえた自律的に行動することにつながる。

自律的に行動するということは、学校教育目標「思いやりのある子 よく考える子 たくましい子」の中の特に「よく考える子」と深く関連があり、高学年の目指す児童像「自ら判断し、責任のある行動ができる子」につながっていく。

(2) 児童の実態について (略)

(3) 資料について

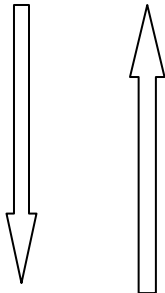
先生から自由学習ノートを配られた主人公の陽平。自由に内容を考えて、自分のペースでやるように言われた陽平は、いつも適当に絵を描いて提出していた。

母親に「それでいいの？」と指摘されても、陽平は「どんな内容でもいいことになっているんだから。」と反発していた。

数日後、学校で、友達の健二がこん虫調べを自由学習ノートに行っている話を聞く。以前からこん虫のことが好きだからこん虫調べをすることにしたという健二に「陽ちゃんは、どんなことをやっているの。」と聞かれ、「まあ、いろいろとね。」と答える陽平。その日の帰りの会での、「自由だから自分に合った学習ができる。」という先生の話聞き、陽平は自分のノートの「自由」という文字を見つめるのだった。

本時では、自由学習を適当にやって済まそうという、主人公陽平の気持ちに共感させ、人間理解を深めたうえで、「陽平の自由」と「健二の自由」の違いについて話し合わせる。「自分に合った学習ができる」という先生の言葉に、今までの自分を見つめ、本当の自由に気づきはじめた陽平の気持ちを考えさせることで、価値に迫り、自律的に行動する態度を育てたい。

4 他の教育活動との関連

事前指導	道徳の時間	事後指導
<p>(4月) 特別活動 「最高学年となって」 最上級生としての立場や役割を理解し、最高学年として自主的に判断し、実践する。</p>	<p>(5月) 「わたしのころに着せる服」 1-(3) 自由について正しく理解し、自分自身を律するとともに、それに伴う責任をとおして自分をよりよく成長させようとする意欲を育てる。</p>	<p>(11月) 総合的な学習の時間 「夢に向かって～自分発見～」 積極的に自分が将来なりたい職業や関心のある事柄について、ドリームマップにまとめる。</p>
<p>(6月) 社会科 「社会科見学」 校外学習を通して、社会の一員としてのマナーや公衆道徳の体験を積み、責任ある態度を身に付ける。</p>	<p>(11月) 「自由学習ノート」 1-(3) 自由の意味について考え、自律的に行動する態度を育てる。</p>	<p>(12月) 社会科 「私達の生活と政治」 日本国憲法が国民としての権利や義務など、国家や国民の生活の基本を定めていることなどを理解する。</p>
<p>(6月) 国語 「相手の意図を聞き取り、自分の主張を伝えよう。～学級討論会をしよう」 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。</p>		<p>(1月) 家庭科 「栄養を考えた食事を作ろう」 栄養を考えた食事について課題を見つけ、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりする。</p>
<p>家庭との連携</p>		
<p>心のノートP20～P23を見て、家庭で話し合う。 学級だより・道徳だより・「道徳ノートぐんぐん」などで学習したことを知らせる。</p>		

5 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 *評価	資料
導入	1 自由になればいいな、と思うことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの時間制限 ・遊ぶ時間 ・お小遣い ・朝起きる時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に中学校の先生と道徳の学習をすることを知らせておく。 ・具体的な場面が考えられるようにする。 	
とらえる	2 資料『自由学習ノート』を読んで話し合う。 ・「陽平」の心の動きを中心に話を聞く。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【登場人物】 陽平（主人公） お母さん 健二</p> <p>【スタートの条件・状況】 先生から配られた自由学習ノートに雑な字で書いた陽平</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料はT 1 と T 2 で読み分けをし、児童がイメージしやすいようにする。 ・授業全般を通して、T 2 が発問、T 1 が指名・切り返しを行っていく。 	
展開	<p>(1) お母さんに「それでいいの。」と言われたとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>(2) 健二の話を聞いたあと、「まあ、いろいろとね。」と言ったとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>(3) 帰りの会で自分のノートの表紙に書かれた「自</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由なんだからいいんだよ。 ・どんな内容でもいいんだから。 ・先生だって、何をやってもいいって言っていたのだから。 ・うるさいなあ。ちゃんとやっているだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・自由学習なんだから、何をやってもいいんだ。 ・健二には恥ずかしくて見せられない。 ・ぼくの自由学習とは全然ちがうなあ。 ・ぼくはいつも適当に描いて済ませているけど…。 ・健二は偉いなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心情円盤を用い、適当にやっって済まそうとしている主人公の気持ちに十分共感させる。 ・友達の意見を聞いて、考えが変わったら、心情円盤も変えていいということを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・切り返しを行い、児童の考えが深まるようにする。 ・「健二の自由」と「陽平の自由」とを話し合わせ、深めていく。 <p>*話合いの中で、多様な考えに触れ（他者理解）、自由の意味について考えはじめた主人公の気持ちを深く考えることができたか。</p> <p style="text-align: right;">（観察・発言）</p>	<p>場面 絵①</p> <p>心情 円盤</p> <p>場面 絵②</p>

		<p>由」という文字を見つめているときどんなことを考えたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは楽をすることばかり考えていたな。 ・自由だから自分に合った勉強ができるのか・・・。 ・ぼくに合った勉強を探してみよう。 ・自由って何でもいいわけじゃないんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えをまとめられるよう発問後すぐに指名せずに、少し時間をとる。 	場面 絵③
見 つ め る	3	<p>資料から離れ、本当の自由について考える。</p> <p>○今日の学習で本当の自由について、自分の考えたことをまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に活動する係活動で、外遊びがしたくて、活動しなくなってしまった。 ・本当の自由とは、自分に厳しく行動することだと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを整理し、深めるために書く作業を入れる。 ・T1 T2は机間指導を行い、価値に基づいた意図的指名を行う。 ・具体的な日常の場面での本当の自由について考えさせる。 	道徳 カード
終 末 あ た た め る	4	<p>本時のまとめをする。</p> <p>○先輩の中学生と中学校の先生のお話を聞きましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活では今以上に自律心が求められることを話してもらう。 *本当の自由について、深く考えることができたか。 (観察) 	

6 評価の観点

自由の意味について考え、自律的に行動することの大切さに気づき、自分をより高めようとする意欲をもつことができたか。(カードの記述・観察・発言)

自由学習ノート

陽平の顔

陽平

自由学習ノート

雑な字で「自由」

健二の顔

健二

場面絵①

○「それでいいの」と言われた時

- ・ 自由なんだからいい。
- ・ どんな内容でもいいんだ。

適当にや
っている。

場面絵②

○「まあ、いろいろとね。」と言った時

- ・ 恥ずかしくて見せられない。
- ・ ぼくの自由学習とは違うなあ。
- ・ 「陽平の自由」と「健二の自由」
は違う。

自分に合った勉
強をしている。

場面絵③

○「自由」という文字を見つめている時

- ・ ぼくは楽なことばかり考えていた。
- ・ 自由だから、自分に合った勉強ができる。
- ・ 自由だからって何でもいい訳じゃないんだ。

○本当の自由って？